

(仮称) 豊岡市新文化会館実施設計の作成 ～人・地域・世代を繋ぐ 文化芸術交流拠点として～

豊岡市の文化創造の拠点である豊岡市民会館と、旧出石文化会館（ひぼこホール）の両館のホール機能を統合する形で、新たな文化会館の整備を進めてきた。2018年度から順次「基本構想」、「基本計画」、「基本設計」をまとめ、本年3月、「実施設計」を作成したので、その概要をお知らせする。

1 新文化会館の概要

- (1) **建設地** 豊岡市大磯町地内
- (2) **敷地面積** 9,640.22㎡
- (3) **地区・地域** 都市計画区域（都市計画公園 中央公園区域内）
用途地域：近隣商業地域
- (4) **主要用途** 劇場
- (5) **建築面積** 3,708.92㎡
- (6) **延床面積** 5,743.58㎡
- (7) **階数・高さ** 地上3階建て、最高高さ28.7m
- (8) **構造** 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
- (9) **駐車場** 新設数113台（うち障害者用9台）
(現豊岡市民会館解体跡地の駐車場整備台数を除く)

2 特徴

(1) 大ホール

- ア 音楽をベースにさまざまな舞台芸術に対応した多機能ホール
客席数 1階客席 606席（うち車いす席4席）
2階客席 185席（うち車いす席2席）
計 791席（うち車いす席6席）
- イ 客席は幅54cm、前後間隔を基本95cmとし、現豊岡市民会館と比べてそれぞれ5cm広くし、ゆったりと鑑賞可能
- ウ 現豊岡市民会館では狭かった舞台の寸法を広げ、利用者の使い勝手や安全性を確保（観客にも出演者にも利用しやすいホール）
現施設の舞台寸法 舞台幅30.2m、舞台奥行10m
新施設の舞台寸法 舞台幅35.4m、舞台奥行15.3m
- エ 乳幼児連れの方など多様な利用者が気兼ねなく鑑賞ができるよう多目的鑑賞室を2室設置

(2) 練習室兼会議室

さまざまな用途に対応できる「重ね使い」可能な、広さの異なる部屋を用意（重ね使いにより利用率向上・延床面積の減）

(3) 市民交流スペース

中高生をはじめ市民が気軽に訪れ、憩いの場となる交流スペース（Wi-Fi環境や充電用コンセントを設置）

※詳細は、別紙「(仮称) 豊岡市新文化会館実施設計書（概要版）」のとおり

3 全体事業費

全体事業費 約65.2億円（税込）

※財源は公共施設等適正管理推進事業債、公共施設整備基金、森林環境基金を有効に活用し、市の一般財源に与える影響を最小限に抑える。

4 整備スケジュール

2023年度	着工
2025年度末	完成
2026年度	開館
2026～2027年度	現豊岡市民会館解体後、駐車場整備

5 その他

- (1) 市ホームページで「実施設計（概要版）」を公開（4月28日（金）から）
- (2) 完成予想模型を市本庁舎2階大会議室前付近で展示（4月28日（金）から）



外観（イメージ）



大ホール（イメージ）

〔問合せ〕 観光文化部新文化会館整備推進室 TEL0796-21-9130（直通）